

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表：2024年2月15日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」大阪狭山金剛校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		支援と支援の間で利用者様の入れ替えがあるときに、多くの人が一度に校舎へ出入りするため、危険の可能性があるときは、時間ギリギリまで保護者様に付き添っていただくなどして、一人で待つことのないように心がけている。	スペースは法令遵守しているが、安全面にはくれぐれも気をつけて、活用していく。また、パーテーションをより安全に使用できるようにしていく。
	②	職員の配置数は適切である	○			
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		トイレ前の段差は、少し危険なので、目立つように蛍光テープを貼っている。	可能な限り、段差を解消したい。つまずいたり、転倒する危険性は高い。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎日の清掃、換気、除菌に加え、4台の空気清浄機を使用している。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		日常的に利用者様の情報共有や環境整備についての気づきを交流している。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		振り返りの際に、聞き取ったことを職員間で共有し、支援内容につながるよう努めている。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		きらりや自治体の研修に参加し、職員間で共有している。	

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		こまめな情報の共有、保護者様との積極的な対話により、個別支援計画を作成している。	継続して丁寧な振り返りや相談があれば必要に応じて対応させていただくとともに、新たに得られた情報があれば随時職員間での情報の共有や意見交換を行い、課題の分析や充実した支援提供になるよう個別支援計画の作成に努める。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		発達検査などについては、保護者様からご提供いただいた際に職員間で共有している。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		常に個別支援計画は確認・閲覧しやすいように整頓して保管している。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		支援前や後に情報交換などを行い、支援プログラムの創意工夫を行っている。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		個別支援計画のそれぞれの目標を軸に、職員の持ち味や得意なところを活かした支援を提供することを心掛け、活動プログラムの固定化につながらないように努めている。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		小集団活動を取り入れ、利用者様同士で交流できる機会を設けている。	今後も小集団活動を取り入れていき、利用者様同士の交流の場を作れるように努めていきたい。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		事前に職員間で打ち合わせを行い、支援を	

				提供する場所や内容を共有している。		
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		ミーティングを日常的に行い、情報や意見の交換を行っている。	今後もミーティングや日常的なやりとりを通じて、利用者様の情報の更新を行えるよう努めていく。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		支援後の記録を必ず作成するとともに、次回支援を担当する職員が把握しやすいような内容を記録している。	今後もミーティングや日常的なやりとりを通じて、利用者様の情報の更新を行えるよう努めていく。また、その中で気づいたことがあれば随時共有していく。
	⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		可能な限り、担当してもらっている職員も参加できるように努めている。	時間や参加される人数にもよるが、当校舎にお越しいただき、相談支援事業所等の担当者をお招きして会議の場などを設けるように進めていきたい。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		保健センターや大阪狭山市子育て支援機関との連携に努めている。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○			現在、該当とされる利用者様はおられないが、必要となった場合は、関係機関と連携を図る体制はできている。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○			現在、該当とされる利用者様はおられないが、必要となった場合は、関係機関と連携を図る体制はできている。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			保護者様から園などのご様子をお聞きするなどし、状況の把握に努めている。ご要望があったり、必要と感じたりした際には、関係機関と連携を図れるように努めていく。

	②6	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			保護者様から小学校等のご様子をお聞きするなどし、状況の把握に努めている。 ご要望があったり、必要と感じたりした際には、関係機関と連携を図れるように努めていく。
	②7	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		大阪狭山基幹相談支援センターや大阪狭山市通所事業所部会と連携し、助言や研修の機会を頂いている。	
	②8	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	個別支援であることから、保育園等の連携する機会設定が難しい。	保護者様からのご要望等があれば、個別ではあるが連携し活動できる体制はできている。
	②9	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		大阪狭山市通所事業所部会に参加している。	今後も通所部会に参加し、連携を図り、情報の共有を進めていきたい。
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		支援後の振り返りなどを通して日々情報を交換するよう努めている。	
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	○			
保護者への説明責任等	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		ご契約時に重要事項説明書の説明を通して、理解を深めていただいている。 また、ご利用明細書を必ずお渡しし、必要に応じて説明も行っている。	
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		モニタリング時に個別支援計画の内容等のご意見やニーズをお聞きし、それを踏まえうえで支援計画を作成し、説明させていただいたうえで同意を頂いている。	

	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		振り返り時やモニタリングなどで、保護者様の相談をお聞きし、一緒に考えたりアドバイスをさせていただいたりしている。	
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			多くの機会は設定できていないが、今後は様々なテーマを設定し、保護者様同士の交流につながるようにしていきたい。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		日頃からのミーティングや打ち合わせなどを通して、相談や申し入れがあるか確認を行っている。	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		定期的な会報の発行はしていないが、LINEや教室内掲示物等で情報提供に努めている。	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	○		事務室は仕切られた空間でないため、職員の作業中のPCの画面が見えることがある。そのため、スクリーンセーバーをかけたり離席の際は画面を閉じたりなどのPC画面が見えないように努めている。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		個別支援であるため、地域住民の方々を招待する機会設定が難しい。	見学等のご要望があれば、受け入れに向けて検討していきたい。
非常時等の	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		様々な状況を想定した防災訓練を定期的に実施し、マニュアルの確認等を行っている。	利用者様への情報提供が不十分であるため、工夫し今後アナウンスできるよう努めていきたい。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		様々な状況を想定した防災訓練を定期的に実	

対 応				施し、マニュアルの確認等を行っている。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○	ご契約時や面談等で保護者様からヒアリングするよう努めている。また、得た情報は職員間で共有している。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		当事業所では食べ物等の提供はしていないが、必要な場合は協力医等と連携し取り組んでいけるよう努める。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	その日のうちにヒヤリハットの内容を記録・作成し、本部に報告している。	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	定期的に研修を受講している。また、受講できなかった職員には後日共有している。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○	重要事項説明書に記載するとともに、ご契約時に説明したり、個別支援計画にも記載し、保護者様に確認を行っていただいている。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2024年2月15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」大阪狭山金剛校

保護者等数（児童数）：17回収数：9割合：53%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8	1				支援スペース等については法令順守している。今後も職員間の情報共有を密にし、衛生・安全面を配慮しつつ、充実した支援を提供できるように活用スペースの工夫に努める。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	7	1	1			職員の配置数については、法令遵守している。 内・外部研修等を通じて今後も継続して、職員の資質や専門性を高めていけるように努める。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	9					
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	9					日々の清掃、除菌、換気等に努め、より安心してご利用いただけるようにしている。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	9					日頃より、支援中や振り返りなどからヒアリングを行い、支援計画に反映するよう努めている。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支	9					保護者様のご相談やご要望を踏まえたうえで、それぞれの成長やお困りごとなどに合わせたオーダーメイド支

	援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか						援計画書を作成するよう努めている。 また、ご要望があれば学校や園と連携できる体制は整えている。
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9					支援後の振り返りやモニタリングなどで、事前にご説明し、それに沿った支援を提供できるよう努めている。
	⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	9					今後も支援方法・支援内容の工夫・改善に行い、職員の資質向上に努める。
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	4	1	1	・コロナのこともあるので仕方がないと思う。	保護者様から見学等のご要望があれば、関係機関と連携をはかり、実現できる体制を整えている。
保護者への説明等	⑩ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	8	1				ご契約時に重要事項説明書や明細書等を通して、説明するよう努めている。
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	7	1		1		モニタリング時に個別支援計画の内容等のご意見やニーズをお聞きし、それを踏まえたうえで支援計画を作成し、説明させていただいたうえで同意を頂いている。
	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	7	1		1		
	⑬ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	9					
	⑭ 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9				・毎回説明いただいています。	今後も振り返り時やモニタリングなどで、保護者様の相談をお聞きし、一緒に考え、アドバイスをさせていただきたい。

	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1		3	5		多くの機会は設定できていないが、今後は様々なテーマを設定し、保護者様同士の交流につながるようにしていきたい。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	9					
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	9					
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	5	2		2		会報などは発行していないが、LINE や教室内掲示、HP などを利用して様々な情報の提供を行っている。自己評価については事業所内の掲示やHP を通じて公表している。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	6	2		1		利用者様の個人情報等は鍵付きのロッカーに保管し、流出しないように努めている。 当事業所は事務室と療育スペースに仕切りがないので、支援中では PC をスクリーンセーバーに設定し、情報の流出・漏洩にならないように努めている。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	5	2		2		事業所の出入り口付近に掲示している。 また、ご契約時に説明するように努めている。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3	1	1	4		定期的に事業所内で様々な状況を想定した防災訓練を行っている。 一方で、個別療育ということもあり、利用者

							様の複数の参加を踏まえての訓練は難しい状況ではある。	
満足度	②	子どもは通所を楽しみにしているか	9				<ul style="list-style-type: none"> ・きらりに通うのをとても楽しみにしている。 ・先生と1対1で接して遊んでもらえることが楽しそうです。いつでも自分だけを見てくれることが嬉しいみたいです。 ・楽しんで通っている。いつもありがとうございます。 	今後も楽しく学んでいただけるよう、職員のスキルアップを図るとともに、個別プログラムの内容や支援方法の工夫に努める。
	③	事業所の支援に満足しているか	9				<ul style="list-style-type: none"> ・苦手なことにもこどもに合わせて取り組んでくれる。 ・得意なことはどんどん伸ばしてくる。 ・満足です👍 ・いつもありがとうございます。 	今後も利用者様及び保護者様のご利用日の変更や追加利用の変更などの様々なご要望に極力お応えできるように努めるとともに、満足度の上がる工夫した支援を提供できるように努めていく。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。